



いとう やすお
伊藤 康雄



しんわかい
津和会

危険な戦没者慰霊碑に対する市の対応策は

問 戦没者慰霊碑は、日清・日露・太平洋戦争のものがあるが、昨年度の厚労省の調査では、全国に1万6,091基ある中で15%は遺族の高齢化等で放置状態にあり、倒壊等の危険があるものも743基あることが判明している。

市内には、戦没者慰霊碑が何基あり、そのうち、危険な状態の慰霊碑はいくつあるのか。

また、今後、厚労省の補助制度の活用等、市の対応策は。

国の補助制度活用も視野に入れ検討していく

答 市内には、97カ所の戦没者慰霊碑があり、そのうち5カ所が、外見からの目視などにより不良と判断されるものである。

危険な慰霊碑については、周辺への立ち入り規制を行うなど、倒壊時に危険が及ばないように、安全性を最優先にした対策が必要である。建立者等が判明しており、現在も所有が継続されているものについては、建立者自身による管理をお願いし、建立者等が不明または存在しない慰霊碑については、土地の所有者や戦没者遺族会をはじめとする関係者の方々と協議を行い、国の補助制度の活用も視野に入れ、対応策を検討していく。

●その他の質疑・質問●

- 令和版営農会議について
- 広報津について
- 消防団について
- 教育現場より
 - 児童の購入品について
 - エアコンの使用状況は など



▲大里小学校校庭の西南角に建立されている危険な慰霊碑



くら たかじ
倉田 寛次



しみん
市民クラブ

競争性が確保されるよう適正な入札を

問 学校で使用するパソコン等に係る入札において、23者の指名にもかかわらず、応札業者が1者から数者にとどまっている。

参考見積もりも、より多く徴取すべきであるのに、1者から数者からしか徴取していない。

教育委員会における入札については、以前にも指摘したが、一向に改善されない。入札結果に疑義が感じられるようでは、いかがなものかと思うが。

仕様の内容や調達方法を改めて見直す

答 教育用 I C T 機器の仕様の作成に当たっては、津市が求める機能の確保と、公平性・競争性の確保を両立するために、今後は、より慎重かつ明確な仕様となるよう、基準の精査を行っていく。

より良い学習環境を充実させるため、既存の方式にこだわるのではなく、業者からの情報や他市の事例等を参考にしながら、仕様の内容や調達方法について、改めて考えていきたい。

また、参考見積もりについても、複数のメーカーから徴取する等、一部の業者に有利となることがないようにする。

●その他の質疑・質問●

- レークサイド君ヶ野の今後について
- 獣害対策について
- 火葬炉の点検整備について
- 公共交通空白地有償輸送について



▲教育用 I C T 機器の入札における公平性・競争性の確保を